

『国際交流基金主催 海外日本語教育シンポジウム』

こく さい こう りゅう き きん しゅ さい
かい がい にほんごきょういく

国際交流基金日本研究部企画開発課 こくさいこうりゅうききんにほんけんきゅうぶきかくかいはつか

● はじめに ●

国際交流基金は海外の日本語教育を支援するため、1990年度より「海外日本語センター」を開設しています。現在は、インドネシア、タイ、マレーシア、オーストラリア、米国、ブラジル、英国の世界7か国に設置されており、「日本語教育研修会・セミナーの開催」、「日本語教材・教授法開発プロジェクトへの支援」、「日本語教育カリキュラム・教材・教授法等に関するコンサルティング」、「日本語講座の運営」、「日本語教育・教材専門図書館の運営」、「日本語教育用教材・リソースの開発および寄贈」、「日本語教育に関する情報提供・情報交流」等、さまざまな形で各国の日本語教育を支援しています。

このたび、上記7か国の海外日本語センターの主任講師が日本に集まり、1週間にわたり各種の会議やシンポジウムに出席しました。期間中は海外の日本語教育を支援している主な機関の代表者や外務省・文化庁の担当官を交えての「海外日本語教育支援団体懇談会」のほか、国際交流基金の日本語国際センター・関西国際センターに勤務しているスタッフや海外事務所に勤務している日本語教育アドバイザーとの会議がありましたが、ここでは、9月19日に東京（国際交流基金国際会議場）で開催された海外日本語教育シンポジウム「初等・中等教育レベルの日本語教師に対する研修 - 海外日本語センターでの事例報告を中心に -」について報告します。

1 海外日本語教育シンポジウムの開催 かいがい にほんごきょういく かいさい

海外日本語センターの業務内容はそれぞれの国の日本語教育事情を反映してさまざまですが、共通している業務のひとつに、主として初等・中等教育レベルの日本語教師に対する研修事業があります。このシンポジウム開催の目的は、とくに初等・中等教育レベルの日本語教師に対する研修の内容と方法について、海外日本語センターが過去10年間に渡って取り組み、蓄積してきたものを国内の日本語教育界に還元するとともに、いっしょに考



えていく機会とすることでした。シンポジウムのコーディネーターとパネリストは別表のとおりです。

2 日本語教師の養成 にほんごきょうし ようせい

はじめに各日本語センターの主任講師から、それぞれの国の教育制度と大学・教育大学等における日本語教師養成システムの紹介がありました。

どの国でも小学校、中学校、高校の日本語教師となるためには、とくに公立学校の場合、教員免許が必要となります。現在、海外日本語センターが設置されている国の多くでは自国の大学に日本語教職課程が設置されており、そこを卒業すれば日本語の教員免許が授与されます。日本語教職課程を有する大学の数は1校だけの国もありますが、米国には約50校あるとのこと。また、オーストラリアには日本語母語話者を対象としたコースや、課程の一部にイマージョン・プログラムを取り入れた日本語教職課程もあります。

教職課程の一環として教育実習を取り入れる大学も増えており、より実践的なカリキュラムが組まれるようになってきています。しかし、中には、日本語と言語構造

が著しく異なるヨーロッパ言語を例として取り上げている場合もあり、日本語教師養成の一環としては適当でないという問題点も指摘されました。この問題を解決するためには、各大学で日本語学科と教育学科がより一層連携することが必要でしょう。

また、他科目の現職教員を再養成することで、日本語教師を確保する場合があります。たとえばタイでは、同国の教育省と国際交流基金が協力して10か月間の集中的な教育を施すことによって現職教員を日本語教師に再養成しています。日本語教師に再養成された教員は国際交流基金日本語国際センター（埼玉県浦和市の）滞日研修（7週間）に参加するほか、同基金バンコック日本語センターの研修にも参加し、更なる日本語能力の向上に努めています。またマレーシアでは、「東方政策」(Look East Policy)の一環として、小学校や中学校の現職教員を日本の大学に4年間留学させることによって、中等教員レベルの日本語教師養成を図っています。

3 現職日本語教師に対する研修

日本語教師養成システムの紹介に続いて、各センター主任講師からは各国における現職日本語教師に対する研修の種類や内容についての報告がありました。

日本語教師の新規養成は大学や教育大学が主体となつて実施されているのに対し、現職日本語教師に対する研修は教育行政機関や教師自身が主体となって実施されるケースが多く、国際交流基金の海外日本語センターもとくにこの点で各国の日本語教育に協力しています。

海外日本語センターの日本語教師研修事業は、それぞれの日本語センターに教師を集めて研修会を開催する場合と、各地の教育行政機関や日本語教師会が主催する日本語教育セミナーに日本語センターの講師が出張したり、開催のための経費を助成したりする場合があります。前者の場合はさらに平日の夕方や特定の曜日に毎週研修会を開催する場合と、夏季休暇等の期間に1週間程度の短期集中研修を行う場合があります。研修内容はそれぞれの国の日本語教育シラバスやカリキュラムを踏まえ、さらに参加教師の要望を考慮して組み立てられています。近年は現場に戻ってからすぐに使える教室活動に焦点を合わせた研修が増えてきています。これは、各国の日本

【コーディネーター】

国際交流基金日本語国際センター

こくさいこうりゅうききん にほんごこくさい

三原龍志 専任講師主任

みはらりゅうし せんにんこうし しゅにん

【パネリスト】

国際交流基金ジャカルタ日本語センター

こくさいこうりゅうききん にほんご

小林佳代子 主任講師

こばやし かよこ しゅにんこうし

同 バンコック日本語センター

どう にほんご

前田綱紀 主任講師

まえだ つなき しゅにんこうし

同 クアラルンプール日本語センター

どう にほんご

雄谷 進 主任講師

おおや すすむ しゅにんこうし

同 シドニー日本語センター

どう にほんご

キャシー・ジョナック 主任講師

きゃしーじょなっく しゅにんこうし

同 ロス・アンジェルズ日本語センター

どう にほんご

片岡裕子 主任講師

かたおかゆうこ しゅにんこうし

同 サン・パウロ日本語センター

どう にほんご

吉川・一甲真由美エジナ 専任講師

よしかわ いちこうまゆみ せんにんこうし

同 ロンドン日本語センター

どう にほんご

木谷直之 主任講師

き たになおゆき しゅにんこうし

語教育がコミュニケーション的な方法を取り入れつつあることを反映していると言えるでしょう。

各地で開催されるセミナーに協力する場合は、当該地域の日本語教師会と共催で開催するケースが増えてきました。日本語教師会は情報交流ネットワークとしてのみならず、教師相互の自主的な研修の場としても機能するケースが多く、教師会の活動に対する協力はどこの国のセンターにとっても重要な業務になってきています。

遠隔地の日本語教師を対象に通信教育で研修を行っている日本語センターもあります。この分野では最新の情報通信技術を日本語教師研修事業にどのように利用していくかが課題となっています。また、近年は初等教育レベルや前期中等教育レベルですでに日本語を学んだ生徒が進学後も継続して日本語を学ぶようになってきているため、ひとつのクラスに日本語既習者と日本語未習者が机を並べるといった状況も生じており、日本語教師には学習者の多様性に対する対応も求められています。このマルチ・レベル・クラスへの対応をテーマにした日本語教師研修も今後の課題となっています。

4 質疑応答

各センター主任講師からの報告が終わった段階で、出席者との質疑応答がありました。今回のシンポジウムには日本語教育関係者を中心に定員一杯の100名ほどの参加者があり、海外における日本語教師の養成・研修に対する関心の高さをうかがわれました。出席者からは、海外の日本語教師養成・研修に日本人の専門家はどのように貢献できるのか、またそのために必要な知識・技能はどのようなものかとの質問が出され、各パネリストからは日本語および日本語教育に関する専門的な知識・技能もさることながら、その国の教育制度や教師・学習者の

状況を十分に認識していることが必要との回答がありました。

このシンポジウムは休憩をはさんで3時間という長いものでしたが、活発な議論が続き、時間の長さを感じさせないものでした。最後にコーディネーターの三原龍志主任から、このようなシンポジウムを今後も開催したい旨の挨拶があり、会を閉じました。

なお、9月22日には大阪におきましても、各センターの主任講師がパネリストとなり、国際交流基金関西国際センターの浜田盛男日本語教育専門員主任が司会を務めて、シンポジウム「海外の日本語教育事情と国際交流基

金海外日本語センター」が開催され、50名ほどの参加者がありました。ここでも、日本語教師研修事業を中心とする海外日本語センターの業務内容が紹介されました。

海外日本語センターは今後も主として初等・中等教育レベルの日本語教師を対象とした研修事業を続けていく予定にしています。また、個々の教師に対するコンサルティングにしているほか、日本語教師を対象としたニュースレターの発行、日本語教材の貸出等の業務を行っています。海外日本語センター事業の詳細についてお知りになりたい場合は、お住まいの国の各日本語センターまでお問い合わせください。

海外日本語センター主催・協力の日本語教師研修会・セミナーの例（1999年度）

ジャカルタ日本語センター	
日本語教師研修講座（通算3回KURSUS教師）	若手大学教師1日セミナー
日本語教師研修講座（若手大学日本語教師）	全ジャワ日本語学校教師研修会（継続者研修）
専門（観光）高校日本語教師懇談会	バンドン地区大学教師1日セミナー
北スラウェシ州普通高校日本語教師研修会	バリ地区高校日本語教師研修
全スマタラ高校日本語教師研修会	日本語教師日本語講座
一般日本語学校教師懇談会（フォローアップ研修）	マラン普通高校日本語教師研修会

バンコック日本語センター	
日本語教師日本語研修	日本語教師通信教育講座（年間）
邦人日本語教師教授法研修会	中等学校新規日本語教師養成講座（年間）
日本語教師金曜研修会（年間）	タイ北部日本語教師会（チェンマイ県）セミナー
日本語教師土曜研修会（年間）	イサーン日本語教師会（コンケン県）セミナー

クアラルンプール日本語センター	
日本語教育セミナー（3回）	コタバル日本語教師研修会
RS試験問題作成ワークショップ	ペナン日本語教師研修会
日本語教育ワークショップ	イポー日本語教師研修会
地方セミナー（サバ、ブルネイ）	マレーシア政府教育省派遣日本語教師研修会
日本語国際センター日本語教師研修修了生勉強報告会	

シドニー日本語センター	
国際文化フォーラム・ワークショップ	南オーストラリア州私立学校協会日本語教師研修会
西オーストラリア州日本語教師研修会	西オーストラリア州日本語教育セミナー
タスマニア州日本語教師研修会	首都特別地域中等課程日本語教師研修会
クィーンズランド州日本語教師研修会	日本語教材ワークショップ
ヴィクトリア州日本語教師研修会	日本語教育集中セミナー
ニューサウスウェールズ州日本語教師研修会	クィーンズランド州私立学校協会日本語教師研修会
日本語教師放課後日本語コース	

ロス・アンジェルス日本語センター	
フロリダ州ナショナル・スタンダード・ワークショップ	第7回夏期日本語教授法ワークショップ
オレゴン州ナショナル・スタンダード・ワークショップ	カナダ・アルバータ州日本語教師会ワークショップ
カリフォルニア州日本語教師会ナショナル・スタンダード・ワークショップ	在シカゴ日本総領事館日本語ワークショップ
北東部中等教育日本語教師会ナショナル・スタンダード・ワークショップ	ビジネス日本語セミナー
カリフォルニア州パークレーナショナル・スタンダード・ワークショップ	

サン・パウロ日本語センター	
日本語学・日本語教育学研究会	パラナ州外国語教師研修会
サンパウロ州外国語センター研修会	日本語教育巡回セミナー
サンパウロ州・パラナ州外国語センター合同研修会	ペルー日系人協会主催日本語教育セミナー
サンパウロ州・パラナ州外国語センター巡回指導	日本理解のための講演会（2回）

ロンドン日本語センター	
北部イングランド中等教育日本語教師セミナー	CILT共催日本語教育セミナー
ステップング・アウト・セミナー（2回）	大学訪問指導（4回）
ノッティンガム大学PGCE課程学生教材制作指導セミナー	邦人日本語教師向け日本語教授法等研修会
ノッティンガム大学PGCE課程教育実習メンターセミナー	ロンドン日本人学校補習校日本語教授法研修会
非母語話者日本語教師のための日本語研修会	第2回中等教育外国語教育主任集中日本語セミナー
WJLC “Japanese for Everyday Communication” セミナー	A/AS level 日本語試験に関するセミナー